

平成 16 年度環境科学センター研究推進委員会課題評価結果

2 重点経常研究

- (1) 「コールドスタート時における自動車からのVOC及び粒子状物質の排出」
(新規課題)

[総合評価とコメント]

本研究は、コールドスタートに伴う VOC 等の排出実態を実験と実態調査により明らかにすることを目的としています。

プレゼンの最後にお示しいただきましたが、将来的な課題に取り組む上で大いに参考となるような成果を期待します。

自動車からの化学物質、粒子状物質の排出総量に対し、コールドスタート時の上乘せ分がどのくらいになるのか。地域の特性を踏まえて定量化できれば、重要な基礎知見になると思う。素人的には、主要幹線道路沿いほどでは。通常ホットスタート分の負荷が圧倒的に多いような気がするが、如何でしょう？

限られた車種構成の実験成果をエミッションファクターにどうまとめ上げて行くかが課題である。なんらかの仮定を設定する考察が求められていると言える。

シャシダイナモを持つ当センターでならの研究でもあり、十分な成果を期待したい。ただし、シャシダイナモを使つての調査と駐車場での調査をどうリンクさせるのかが十分には伝わってこなかった。

大型のトラック等はあまり対象には考えておられないようで、それはそれでよいと思います。しかし、せっかく測定されるのですから大型車の場合、だいたいこういう傾向になるくらいのデータは必要になると思います。なお、地下駐車場にはトラックなどはあまり入らないので、その点は測定の点からはかえって好都合かと思います。

興味深く、また重要な政策課題であるので、着実に研究進め、成果については適宜(論文など)世に問い、コメントをもらうことが重要である。実験条件については、村林委員長の発言にあったように再考し、より充実した研究として欲しい。

(数値的評価)

評価者 6 名

< 評価の内容 >	< 評価項目 >	< ランク >				
課題設定の妥当性	背景と必要性	5 (3 人)	4 (3 人)	3(0 人)	2(0 人)	1 (0 人)
	優先性	5 (3 人)	4 (3 人)	3(0 人)	2(0 人)	1 (0 人)
計画の立案と実施法	研究内容	5 (5 人)	4 (1 人)	3(0 人)	2(0 人)	1 (0 人)
	計画の妥当性	5 (2 人)	4 (3 人)	3(1 人)	2(0 人)	1 (0 人)

ランクは、5 点満点の評価で 5(優)～1(劣)